

研究② 【住居学の視点から：中迫担当】
学校施設のバリアフリー及びユニバーサルデザイン
の現状と課題に関する実地調査



- ・ 障害のある児童生徒や外国籍児童生徒を受け入れている学校の施設状況をバリアフリー・ユニバーサルデザインの視点から視察
- ・ 現状の施設に対する課題点について教職員を対象にアンケート調査を行い、多様性を包摂するために望まれる学校施設のあり方を整理

住居学の視点からの提案

研究③ 【発達心理学の視点から：高崎担当】
児童生徒の「他者との協働性」の発達に関する
調査

- ・ 障害のある児童生徒や外国籍の児童生徒との協働学習の体験が一般の子どもの協働性の発達にどのような影響をもたらすか、発達段階別に大規模な横断的調査を実施
- ・ 協働性の発達プロセスと影響因を分析



発達心理学の視点からの提案

【多様性を包摂する「未来の学校」プロジェクト】

多様性のある子どもを包摂し、個々のニーズに応じながら協働的な学びの実現を可能にする「未来の学校」づくりのための課題を整理し、実現のための学術的エビデンスを提供

《関連するSDGsゴール》



特別支援教育の視点からの提案



災害時の避難所等、多様性を包摂する可能な地域の中核になる学校づくり

研究① 【特別支援教育の視点から：菊池担当】

障害のある児童生徒の受け入れや外国籍児童生徒の在籍状況とニーズに関する実態調査



- ・ 多様性の包摂に取り組んでいる先端研究校等の視察、教員等へのアンケート調査により、障害のある児童生徒や外国籍の児童生徒が持つ個別のニーズを把握
- ・ 個々の児童生徒のニーズを満たすための条件整備や教育活動のポイントを整理